



角館高校書道部による書道パフォーマンス。

お正月恒例の「第13回仙北市新春書き初め大会」が1月5日、角館交流センターで開催されました。今年には小学生と高校生あわせて50人が参加し、「いぬとし」「未来の夢」など学年ごとに決められた課題に取り組みました。参加者は納得のいく1枚が書けるまで、熱心に筆を走らせた。

また、書き初めの後には角館高校書道部による書道パフォーマンスが披露され、音楽に合わせて、流れるような筆さばりで作品を作り上げていきました。完成した作品を見た観客からは、大きな拍手が送られました。

金賞受賞者は次のとおりです。【敬称略】

小学生の部
 ▼堀井柚香（中川小1年）
 ▼山口海嘉（神代小2年）
 ▼加藤錬（角館小3年）
 ▼小野翔（生保内小3年）
 ▼石川才稀（神代小3年）
 ▼佐々木祐奈（中川小5年）
 ▼青山颯羽（同）
 ▼戸澤明寿（角館小6年）
 ▼仙波将（中川小6年）
 ▼藤原洸介（同）

高校生の部
 ▼奥山渚（角館高校1年）
 ▼武田怜海（同）
 ▼谷口央（同）
 ▼照井聖奈（同）
 ▼中嶋霞（同）
 ▼緑川瑛里（同）
 ▼福原夏海（同）
 ▼伊藤朋佳（同2年）
 ▼佐々木唯衣（同）
 ▼三浦優衣（同）
 ▼大沼日和（同）
 ▼高橋実桜（同）
 ▼佐々木茉祐（同）
 ▼渡部睦乃（同）
 ▼村上あやの（同）

仙北市新春書き初め大会

仙北市芸術文化章授章式

1月14日、仙北市芸術文化協会（山口心海会長）が主催する「第12回仙北市芸術文化章授章式」があきた芸術村で開催され、赤倉羊子氏と佐々木佐年氏が芸術文化章を受章されたほか、山口顕正氏が栄光賞を受賞しました。

芸術文化章 【個人・地域分野】



赤倉羊子氏（86歳・西木町小山田）

芸術文化章 【個人・学術分野】



佐々木佐年氏（85歳・角館町田町上丁）

現在、西木芸術文化協会の茶道部部长として活動。西明寺婦人会の機関誌・文集『りんどう』の編集や西明寺婦人演芸発表会を立ち上げるなど、文化面の向上や地域の伝統芸能の伝承にも貢献されました。西木芸術文化協会では会長を5年、仙北市芸術文化協会でも副会長を5年歴任し、事業の充実を図るとともに、両会の発展に尽力されました。

昭和22年、角館工芸協同組合の組合員として教職の傍ら木工部門と樺細工の活動を始め、授業に樺細工を取り入れるなど、普及に貢献されました。山桜の樹皮を有効利用するための研究で、全国発明展等で数々の賞を受賞。また、平成19年頃から角館町全域の樹木調査を開始し、平成29年度にその調査結果を冊子『角館の樹木』にまとめました。

栄光賞

このたび、改組新第4回日本美術展（日展）書の部で入選の栄に輝いた山口顕正氏（42歳・角館町西勝楽町）に、仙北市芸術文化協会より仙北市芸術文化栄光賞が贈られました。

非行防止・健全育成 標語入賞作品決定

仙北地区少年保護育成委員会（荒木和子会長）が、市内各学校を対象に募集していた「非行防止・健全育成標語」の入賞作品が、応募総数 643 点の中から決定しました。

入賞者並びに作品は右記のとおりです。（敬称略）



（左）小学校の部で優秀賞に輝いた中川小4年の千代竜長くん。（右）と仙北地区少年保護育成委員会の荒木和子会長。

小学校の部

- 優秀賞**
 ◆千代竜長（中川小4年）
 「帰り道 きけんがいつも かくれんぼ」
- 優良賞**
 ◆賢木知穂（角館小4年）
 「きけんだよ メールの世界 気をつけて！」
 ◆鎌田宇朗（角館小6年）
 「きれいな手 きたない色に 染めないで」
 ◆渡辺爽月（白岩小6年）
 「ま葉はね 人の心を 狂わせる」
 ◆村田藍（生保内小4年）
 「ひとことで つながるえがお だいじだよ」
 ◆三浦大和（生保内小6年）
 「たしかめよう みんながみてる ネットだよ」
 ◆田村遼（神代小4年）
 「あいさつは 気持ちをかわす 合い言葉」
 ◆浅利奈那（松木内小5年）
 「薬物を やったら未来が こまっちゃう」

中学校の部

- 優秀賞**
 ◆佐藤彩海（松木内中3年）
 「その言葉 信じていいの？ ネット社会」
- 優良賞**
 ◆藤本真衣（神代中3年）
 「信頼を 全て失う 犯罪で」
 ◆鈴木未来（西明寺中1年）
 「目を合わせ 大きな声で あいさつを 私ができる 地域貢献」

笑顔でおもてなし

元旦に歓迎イベント

1月1日、JR角館駅と仙北市観光情報センター「角館駅前蔵」で、新幹線の利用者に向けた元旦歓迎イベントが行われました。

駅ホームでは、マスコットキャラクター「お梅ちゃん」と「福松くん」をはじめ、角館町観光協会会員や井上角館駅長などがお出迎えをし、プレゼントを手渡したり、一緒に記念撮影したりする光景が見られました。

駅前には竹とビニールで作られたスタードームが設置され、中でゆっくり休む人や、角館駅前蔵ではお酒や漬け物が振る舞われるなど、帰省客や観光客はゆったりとした時間をそれぞれ楽しんでいました。



駅ホームでは、新幹線の利用客にプレゼントが手渡されました。



オタスケマンの指導のもと、勉強に励む子どもたち。

18年目、32回を迎える

角館キッズ学びい教室

1月12日から13日までの日程で「角館キッズ学びい教室」が角館交流センターで行われ、市内外の小学生79人が参加しました。

この教室は「楽しい学習オタスケマンの会（草薙絵会長）」が子どもたちの自学自習を支援しようと、毎年、夏・冬の長期休みに開催しています。

市民や現職・退職した先生30人が「オタスケマン」に扮し、子どもたちの質問に丁寧に答えるなど、地域力を活かして子どもたちを磨いた2日間、親御さんからも感謝されています。



協定書に調印後、関係者で記念撮影。

市内コンビニエンスストアに新たに設置されるAED。左側が本体、右側が収納するキャリングバッグ。

1月16日現在、AEDを設置している店舗

- ◆ファミリーマート角館岩瀬店 (角館町上菅沢 57-1) 【24時間営業】
- ◆ファミリーマート角館下新町店 (角館町下新町 24-8) 【24時間営業】
- ◆ファミリーマート角館川原町店 (角館町川原町 28-1) 【24時間営業】
- ◆ファミリーマート仙北西木西明寺店 (西木町上荒井字中屋敷 57-1) 【24時間営業】
- ◆セブン-イレブン角館武家屋敷店 (角館町横町 42-1) 【24時間営業】
- ◆デイリーヤマザキ田沢湖高原店 (田沢湖生保内字造道 23-12) 【営業時間 5:00 ~ 22:00】
- ◆デイリーヤマザキ神代店 (田沢湖神代字堂ノ西 149-1) 【営業時間 6:00 ~ 21:00】

※市内のローソン各店は、細部の手続きが終了次第、追加設置されます。

※ご注意：コンビニエンスストアの店員の方の業務はAEDの貸し出しのみで、AEDを操作したり、現場へ出向いたりするものではありません。

問合せ 総合防災課 TEL. 43-1115

安全な作業方法学ぶ 雪下ろし講習会



命綱を作る場合のもやい結びや巻き結びなど、ロープの結び方の指導を受ける参加者。



転落を防ぐためのはしごのかけ方や上り下りなどの指導が行われました。

1月15日、本格的な降雪期を迎え、これから増える除雪作業中の事故を防止しようと雪下ろし講習会が開催され、市民や事業関係者など約50人が参加しました。

初めに就業改善センターで、大曲労働基準監督署から雪下ろし作業時に親綱と安全帯等を使った作業方法の講習が行われ、続いて仙北警察署から雪害事故の発生状況について説明が行われました。

その後講習は、神代出張所の車庫に場所を移し、角館消防署西木分署職員による実技指導が行われました。

た。実技指導では、増加しているはしごからの転落を防ぐため、はしごのかけ方や上り下りなどの指導が行われました。また、命綱を作る場合のもやい結びや巻き結びなどロープの結び方の指導も行われ、参加者は消防署職員の説明を熱心に聞いていました。講習に初めて参加したという男性は「ロープの結び方はとても参考になった。今年はまだ雪下ろしの機会はないが、今後は講習の内容を実践して安全に作業を行いたい」と話していました。

コンビニエンスストアにAEDを設置

1月16日、市役所田沢湖庁舎で、仙北市・コンビニエンスストア会社・市内コンビニエンスストア店舗とで「仙北市コンビニエンスストアAEDステーションに関する協定締結式」を開催しました。

これは、仙北市が自動体外式除細動器(AED)を購入し、市内各コンビニエンスストアにAED設置を行うことで、各店舗周辺でAEDを必要とする

る重篤な傷病者が発生した場合、AEDを利用し、救命措置の範囲拡大を図るものです。

仙北市では、各主要施設や小中学校・保育園にAEDを設置していますが、ほとんどが平日・昼間のみの利用となり、基本的には、夜間および休日施設が施設されて利用できない状態です。

市内には、数多くの観光名所があり、

毎年多くの観光客が訪れることから、認知度の高いコンビニエンスストアにご協力をいただき、AEDを設置することで、緊急事態発生時には救急隊が到着するまでの救命措置を行うことができる体制を拡大整備し、市民の皆さまを含め観光客の皆さまの安心安全を確保しながら、地域振興を図ります。

角館消防署田沢湖分署に新しいポンプ車が配備されました



12月26日、市役所田沢湖庁舎でお披露目されました。

角館消防署田沢湖分署では、平成15年に配備されたポンプ車の老朽化が進んだため、新しいポンプ車(災害対応特殊消防ポンプ自動車CD-I型・CAFS装置付き)が配備され、昨年12月27日より運用を開始しています。

CAFS(キャブス)とは、圧縮空気泡消化装置という意味で、水に少量の消化薬剤を混合し、圧縮空気を送り込むことにより泡状で放水することができる装置です。これにより少量の水で消火が可能になるうえ、水利確保が困難な場所での消火にも積載する水で迅速な対応が可能になります。

また、今回更新配備されたポンプ車は、緊急消防援助隊の出動車両として登録されており、大規模な災害が発生した場合には、被災地に出動して消火活動を行います。

実戦空手道武心会 空手の寒稽古



鈴木内川で気合いの掛け声とともに基本練習に励む県内各道場の門下生。

1月7日、実戦空手道武心会角館本部道場(湯澤浩一師範)の寒稽古が行われ、子どもから大人まで県内各道場の門下生80人が参加しました。

空手着に身を包んだ参加者は角館武道館から角館神明社を目指し町内をランニングし、境内で奉納稽古と安全祈願を行いました。その後、鈴木内川に移動し、冷たい川に入りながら「セイ、セイ」と元氣いっぱい突きや受けなどの基本稽古を行い、心身を鍛え上げました。

稽古終了後は、武道館で餅つきが行われ、お餅や温かいうどんを食べながら、冷えた体を温めていました。



心の健康と自殺予防を呼びかけました(写真は「よねや角館店」)。